

令和6年度全国学力・学習状況調査結果 府中市立小柳小学校

【調査の概要】 調査日時：令和6年4月18日（金）、調査対象：小学校第6学年、調査方式：悉皆調査
調査事項：生徒に対する調査（ア：教科に関する調査〈国語、算数〉・イ：質問紙調査）

学力調査の結果

1 平均正答率(%)及び中央値(問)

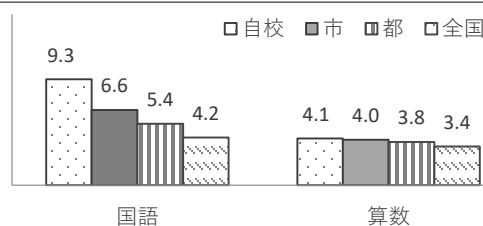
中央値とは、統計的な指標の一つで、一人一人の正答数を大きい順に並べたときの、全体の中央に位置する値のことです。

	国語(14問)		算数(16問)	
	平均正答率(%)	中央値(問)	平均正答率(%)	中央値(問)
自校	65.0	9.0	64.0	11.0
府中市	69.0	10.0	67.0	11.0
東京都	70.0	10.0	68.0	12.0
全国	67.7	10.0	63.4	11.0

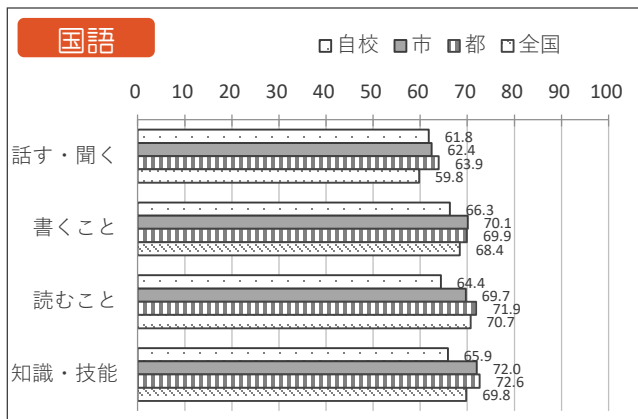
○平均正答率は、国語では、全国、東京都を下回りました。算数では、全国を上回り、東京都を下回りました。
○中央値は、国語、算数とも、東京都を1下回りました。

調査結果は、児童が「どのような力を伸ばしているか」、「どのような力を十分伸ばしていないか」という具体的な成果と課題に着目し、児童への教育指導の充実や学習状況の改善、授業改善に役立てます。

2 各教科の無解答率(%) (全設問の無解答率の平均値)



3 学習指導要領の領域別正答率(%)



4 成果や課題があった主な設問

国語

○2(2)：目的や意図に合わせて、適切なものを選択すること

正答率 自校 89.9% 都 88.8% 全国 86.9%

△3三：物語を読んで、心に残ったところとその理由をまとめて書くこと

正答率 自校 56.2% 都 71.0% 全国 72.6%

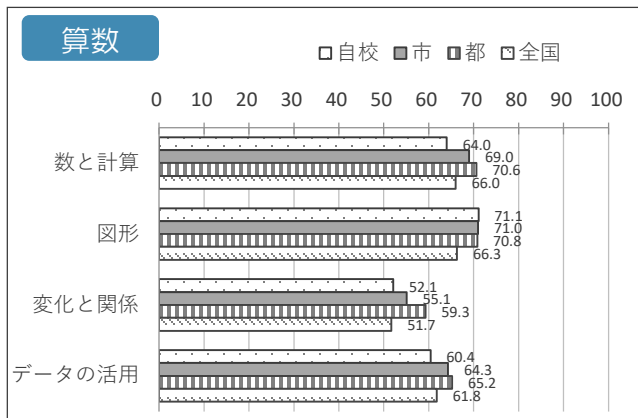
算数

○3(3)：使用する目的に応じた立体の体積を求める式を書くことができること

正答率 自校 47.2% 都 45.3% 全国 36.5%

△5(4)：場面に合った式を選ぶことができること

正答率 自校 41.6% 都 55.5% 全国 49.3%



5 学力調査の結果についての成果と課題

○成果

目的に応じて自分の考えをまとめたり、知識を活用したりする力が向上している。引き続き言葉や問題の意味理解を大切に学習活動の工夫を図っていく。

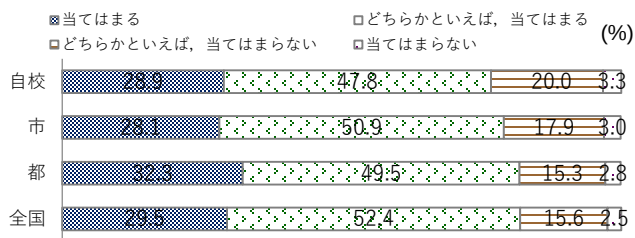
△課題

国語、算数とも、中央値が東京都を下回り、無回答率も高めである。基礎学力の定着だけでなく、児童がよりよく思考・判断・表現できるよう工夫を図る必要がある。

質問紙調査の結果

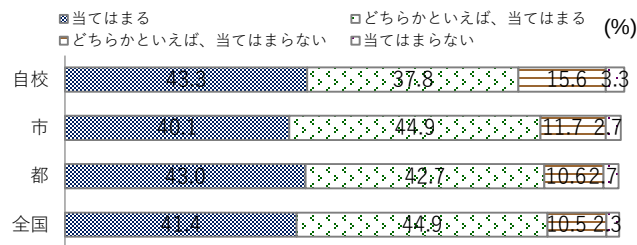
主体的・対話的で深い学びの視点から

【30】 5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



授業で、問題解決に向けて主体的に取り組む児童の平均正答率は、高い傾向にあります。

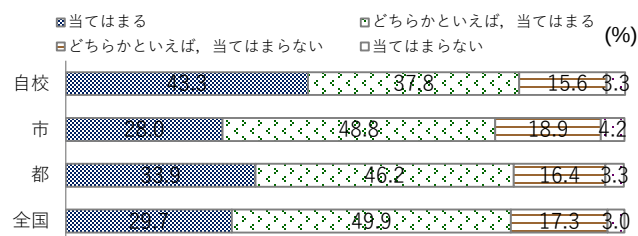
【33】 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



話し合い活動を通じて自らの考えを深めたり、広げたりする児童の平均正答率は、高い傾向にあります。

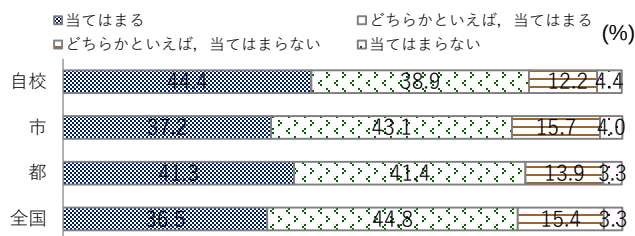
思考力・判断力・表現力の育成の視点から

【31】 5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行いましたか



考えがうまく伝わるように工夫して発表している児童の平均正答率は、高い傾向にあります。

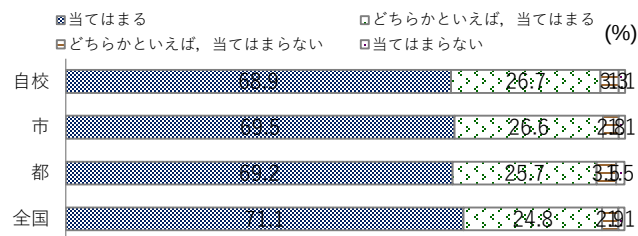
【38】 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



自ら課題を立て、進んで探究的な学習に取り組む児童の平均正答率は、高い傾向にあります。

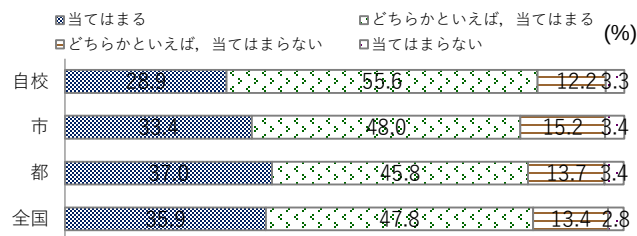
自己有用感、地域・社会との関わりの視点から

【15】 人の役に立つ人間になりたいと思いますか



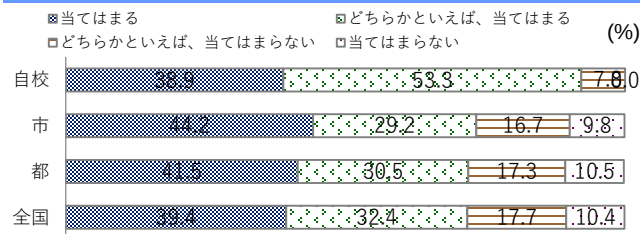
人の役に立ちたいと思う児童の平均正答率は、高い傾向にあります。

【35】 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか



学びが様々な場面で結びつき、生かすことができると思う児童の平均正答率は、高い傾向にあります。

【37】 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にしながら、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか



他者の考えを尊重し、協力して課題に取り組める児童の平均正答率は、高い傾向にあります。

今後の取組について

〈学校での取組〉

一人一人が学習計画を立て主体的に学習に取り組んでいけるように、今後も問題解決的な学習や話し合い活動の充実を図る。さらに、互いに協力しながら課題を解決できるような場を多く設定していく。

〈家庭での取組についてお願い〉

子供との会話等で、他者の考えを尊重することの大切さに触れることが多くあるとよいと思います。